

## 「挿絵画家のことば」

芸術科 吉積惟代

私は今年1年生の担任をしています。生徒のみなさんの読書熱にはいつも驚かされます。私が12～13歳頃に好きだった本は何だったのだろうと思い返すと、児童文学の『黒ねこサンゴロウ』シリーズが思い浮かびました。

主人公は、うみねこ族の黒ねこ、サンゴロウ。全10巻のシリーズで、1巻での大冒険の末に見つけた宝をもとに、サンゴロウの海の旅が始まります。本を開くたび、サンゴロウのカッコ良さに惚れ惚れしていました。このシリーズ、文章はもちろん、挿絵が素敵なんです。サンゴロウの、クールさの中にもあたたかみのある眼差し、顔には出さない心の内が伝わってくるような表情の描写…。

私は小さい頃からお絵描きが好きで、この頃には、いつか絵に関わる仕事に就けたらいいな、という漠然とした希望を抱いていました。中学1年生の頃、この作品の挿絵画家・鈴木まもるさんの講演会が近所で開かれると知り、母に連れていってもらいました。講演会といっても、絵本の読み聞かせ会のような形式のこぢんまりとした会です。進路への不安が膨らみ始めていた時期だったので、講演会後の質問の時間に鈴木さんに尋ねました。「将来絵に関わる仕事をしたいのだけれど、今やっておいたほうがいいことは、何かありますか？」

“デッサンの練習をしておくべき”とか“勉強をしたほうがいい”と言われるのかな、という私の想像を裏切り、鈴木さんの答えは、少し考えた後に「たくさん遊んでください。」の一言だけでした。なあんだ遊んでいたらいいのか〜と安心する気持ちと、本当か？と疑う気持ちを抱きながら、家に帰ったのを覚えています。

私はこの言葉を真に受けて思う存分遊んできましたが、その真意を捉えきれていない感覚もうっすらと持っていました。そこで今回この原稿を書くにあたって改めて『遊び』について調べてみると、胸にストンと落ちる文章を見つけました。『遊びとは、知能を有する動物（ヒトを含む）が、生活的・生存上の実利の有無を問わず、心を満足させることを主たる目的として行うものである（wikipediaから引用）』。生きるために必要不可欠な食事や睡眠、不本意な労働などとは違い、心を満足させるために行うこと…。ふと、これは『絵を描くこと』にも通じるのではないかと頭の中で結びつきました。絵を描くことは、一般的には生きる上で食事や睡眠ほど不可欠なものではないけれど、心を満足させる大きな力を持っていると思います。鈴木さんは、“自分の心を満足させる経験を多く積んで、その感覚を磨いてください”という意味で「遊んでください」と言ったのではないのでしょうか…。

もしかしたらこれは私の考えすぎで、鈴木さんは単純に『子どものうちは遊んで！』と言っただけなのかもしれません。でもこの本を読み返すたび、サンゴロウに勇気をもらうとともに、鈴木さんの言葉が、あたたかい記憶としてよみがえってきます。

(※「黒ねこサンゴロウ(1)旅の始まり」の本は、11月に購入予定です。)

## 最後の頁を閉じた 違う私が出た

上記は、今年の読書標語です。

戦後まもない1947年（昭和22年）、「読書の力によって、平和な文化国家をつくろう」という決意のもと「第1回読書週間」が開催されました。そして、今年で75回目となります。さらに、読書週間が始まる10月27日が「文字・活字文化の日」に制定されました。ぜひ、文字・活字に触れてみましょう。

### ☆宇和島南中等教育学校の読書標語を募集します☆

- 図書委員が中心となり、各クラスで真面目に標語をつくってください。  
詳しくは図書委員がクラスにて連絡します。
- 文字数は自由です。  
五・七・五やキャッチコピー風など形式も自由です。
- 提出締め切りは、10月20日（水）です。

### ～新刊紹介～（●は、既に入荷しています。）

- 『大学の学科図鑑 改訂版』 石渡嶺司
- 【著】
- 『天久鷹央の事件カルテ 久遠の檻』 知念実季人
- 【著】
- 『ザリガニの鳴くところ』 ディーリア・オーエン
- ズ 【著】
- 『みとりねこ』 有川ひろ
- 【著】
- 『死物語 上』 『死物語 下』 西尾維新
- 【著】
- 『硝子の塔の殺人』 知念実季人
- 【著】
- 『めだか、太平洋を往け』 重松清
- 【著】
- 『海が見える家』 「海が見える家 それから」 「海が見える家 逆風」 はらだみずき
- 【著】
- 『吉本ばななが友だちの悩みについて答える』 吉本ばなな
- 【著】
- 『シンプルな英語』 中山裕木子

【著】

- 『認知症の私から見える社会』 丹野智文

【著】

- 「どうしても頑張れない人たち」 宮口幸治

【著】

- 「熱帯」 森見登美彦

【著】

- 「三千円の使い方」 原田ひ香 【著】

ただいま、今年度2回目（そして最後）の購入本、募集中です。希望がある人は、各クラスの  
図書委員か図書館の赤松まで、連絡してください。

締め切りは、10月13日です。